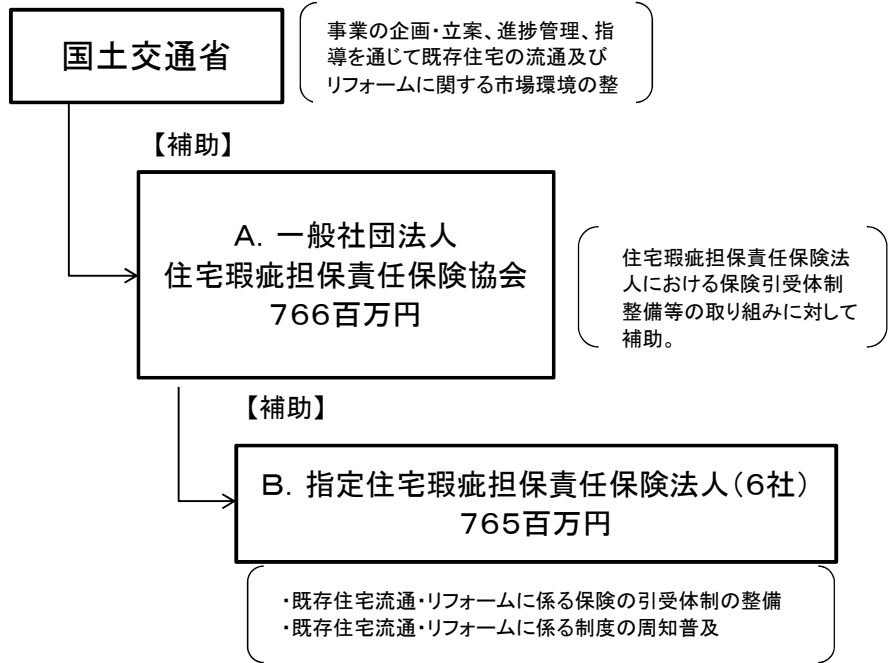


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	既存住宅流通円滑化事業		担当部局庁	住宅局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H22		担当課室	住宅生産課住宅瑕疵担保対策室		室長 山田哲也		
会計区分	一般会計		施策名	9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	住宅・建築物環境対策事業費補助金交付要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住宅ストックの質を高めるとともに、適切に維持管理されたストックが市場を通じて循環利用される環境を整備するためには、消費者が安心して既存住宅を選択し、適切なリフォームを行うことができるよう、既存住宅の流通及びリフォームに関する市場環境の整備を進めることが必要である。 このため、既存住宅売買やリフォーム工事にともなう瑕疵発生等に対応するため、住宅瑕疵担保責任保険法人が行う、住宅瑕疵担保責任保険制度の構築を支援することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①既存住宅売買やリフォーム工事にともなう瑕疵に対応した保険の申込時の手続・相談等の体制整備を図るため、保険の申込みに係るスタッフ、窓口等の体制の充実・強化を行う。 ②事業者・消費者に対し保険制度等を集中的に周知・普及する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	800	-	-	
	執行額	-	-	766	-	-		
	執行率(%)	-	-	96%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (32年度)
	既存住宅の流通シェア		成果実績	%	13.5			25
			達成度	%	54			
	リフォーム実施戸数の住宅ストック数に対する割合		成果実績	%	3.5(H16-20平均)			6
達成度			%	58				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施事業者数		活動実績 (当初見込み)		-	-	1 (1)	- ()
単位当たりコスト	766百万円(実績額/実施事業者)		算出根拠	単位当たりコスト=実績額(766百万円)÷実施事業者数(1者)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>消費者が安心して既存住宅を購入し、適切なリフォームを行うことができる環境の整備を進めることが必要であるため、平成22年度に開発された既存住宅売買やリフォーム工事に対応した保険制度について、平成22年度単年度で集中的に周知・普及等を行った。新成長戦略に位置づけられた「中古住宅流通・リフォーム市場の倍増」に向けて、現在、「中古住宅・リフォームトータルプラン」を策定中であり、当該プランの策定に関する検討会においては、今後さらに既存住宅売買やリフォーム工事に対応した保険制度の充実と消費者への周知・普及が必要とされているところ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止 ⑧	<p>本事業は22年度で終了するが、得られた成果を活用するには政策目的に沿った目標値を設定すべき</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
御指摘を踏まえ、今後、目標値を設定する際には、政策目的に沿ったものとする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	保険法人への補助	765			
人件費	補助事業実施のための人件費	2			
計		766	計		0
B.財団法人住宅保証機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	既存住宅売買やリフォームに伴う瑕疵に関する保険制度の周知普及	157			
事業費	保険の引受体制の整備	153			
計		310	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)住宅保証機構	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	310	-	-
2	(株)日本住宅保証検査機構	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	185	-	-
3	ハウスプラス住宅保証(株)	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	133	-	-
4	(株)住宅あんしん保証	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	91	-	-
5	(株)ハウスジューメン	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	32	-	-
6	たてもの(株)	既存住宅流通・リフォームに係る保険の引受体制整備及び周知普及	14	-	-
7					
8					
9					
10					